

○ 環境保全に係る目的と目的の達成に資する主な営農活動

営農活動 目的	有機物の施用	化学肥料の使用低減	農薬の使用低減	土壌改良資材の施用	不耕起・省耕起栽培	水田の水管理	カバークロフの作付、グリーンベルトの設置等	輪作多毛作	その他 (機械・施設の点検等、廃プラスチックの適正処理等)
水質の保全	○	○	○	△	○	△	○	○	—
	保肥力等の向上 (一方、過剰な施用は負荷を増加させる可能性)	肥料成分の流出防止	農薬の水系への流出防止	保肥力等の向上	土壌流亡の防止を通じた肥料成分の流出防止	代かき濁水の排出抑制による肥料、農薬等の流出防止	土壌流亡の防止を通じた肥料成分の流出防止	余剰肥料分の吸収による溶脱量の減少	
大気 の保全 (地球温暖化の防止)	○	○	—	△	○	△	○	○	○ (機械・施設の点検等)
	土壌炭素の貯留	N ₂ Oの発生量の減少		土壌炭素の貯留	土壌炭素の貯留	中干し時期の前倒し等によるメタンの発生抑制	土壌流亡の防止を通じた土壌の炭素の維持	土壌炭素の貯留	燃費の向上によるCO ₂ の発生抑制
土壌の保全	○	△	△	○	△	—	○	○	—
	土壌の性質(透水性、保水性、保肥力等)の改善	代替資材としての有機物の施用、養分過剰の是正等による土壌の性質の改善	土壌の微生物相の維持	土壌の性質の改善	土壌の性質(物理性等)の改善		土壌流亡の防止	土壌の性質(生物性等)の改善	
生物多様性の保全	○	△	○	△	○	△	△	○	—
	土壌の生物性の改善	代替資材としての有機物の施用による土壌の性質の改善	生態系への影響の緩和	土壌の生物性の改善	土壌の生物性の改善	冬期湛水等による野鳥等への生息環境の提供	生物への生息環境の提供	生物への生育環境の提供 土壌の生物性の改善	
有機性資源の循環促進	○	△	—	△	—	—	—	—	—
	有機性資源有効活用(家畜排せつ物、食品残渣等)	代替資材としての有機物の施用による有機性資源の有効活用		有機性資源の有効活用(バークたい肥等)					
その他の環境保全機能の向上 (景観形成 エネルギーの節減等)	—	△ (エネルギーの節減)	△ (エネルギーの節減、景観形成)	—	○ (エネルギーの節減)	△ (景観形成)	○ (景観形成)	○ (景観形成)	
		化学肥料の製造に伴うエネルギーの節減	農薬の製造に伴うエネルギーの節減		農業機械の使用に係るエネルギーの節減	冬期湛水による景観形成	土壌流亡の防止等による景観形成	景観形成作物の植付、裸地の防止による景観形成	

(注) ○:効果大、△:効果小(又は取組の一部が該当するもの)、—:効果無し